

機械工学科			世界史				
学年	第3学年	担当教員名	木村峰明				
単位数・期間		2単位	通年	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		過去の文明が持つ豊かな文化と価値観の多様性の理解に努め、人間社会の歴史としての世界史を学ぶ。					
		釧路高専目標	A:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		授業は、テキストを皆さんに読んでもらい、それに解説を加えていく。 テキストをじっくりと読み、解説をしっかりと聞くこと。					
到達目標		歴史的視点をもって過去や近年の出来事の重要性を判断する基礎力を養うことができる。					
成績評価方法		定期試験の平均点が60点を超えている者を合格とする(合否判定＝最終評価)。 60点未満の者には、再試験(又はレポート)を課し、60点以上を合格とする。					
テキスト・参考書		テキスト：堀越宏一「中世ヨーロッパ生活誌」、福井憲彦「歴史学入門」 参考書：「角川世界史辞典」、樺山紘一「ヨーロッパの出現」					
メッセージ		ヨーロッパは、明治以来日本の社会生活と文化に深い影響を与えてきており、それだけにその歴史を知ること は極めて重要です。私達の日常に入り込んでいるヨーロッパ起源の諸要素について、その原型と変容を明 らかにすることは、私達が生きている現代世界の特質のよりよい理解につながるはずです。後半は、さま ざまな歴史像が生み出される手続きや発想について考えます。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
★「中世ヨーロッパ生活誌」 1 中世ヨーロッパの歴史を考える(1回) 2 中世ヨーロッパ社会とは何か(3回) 3 中世の人々の一生(4回)			1:現代ヨーロッパの動き、日欧関係の歴史と意義、ヨーロッパ 文明の基層につい て略述できる。 2:中世生活文化の源(古典古代世界の遺産)、キリスト教と中 世社会の関わり、 領主の支配について略述できる。 3:家族のかたち、結婚、子供、弱者救済、死と先祖の記憶に ついて略述でき る。				
前期中間試験			実施しない				
4 衣・食・住(6回) 5 前期のまとめ(1回)			4:中世人の王宮と城、農家と町屋、衣服、食生活の特徴につ いて、略述できる。				
前期期末試験			実施する				
6 消費社会のあけぼの (2回) ★「歴史学入門」(各2回但し7は1回) 1 歴史の舞台としての環境 2 歴史の重層性と地域からの視線 3 グローバルな歴史の捉え方			6:製鉄の歴史から見た中世社会、商人と国家の台頭し近代が垣間見える15世紀 社会の特徴を略述できる。 現在の歴史学の興味深い到達点や可能性を具体的(左記)テーマに即して略述 できる。				
後期中間試験			実施しない				
4 歴史人口学が開いた地平 5 人と人とを結ぶもの 6 政治と文化の再考 7 後期のまとめ			現在の歴史学の興味深い到達点や可能性を具体的(左記)テーマに即して略述で きる。				
後期期末試験			実施する				